



国際特許出願済 (PCT/EP2019/082332)

アイスブレイカー密閉型製氷皿 取扱説明書

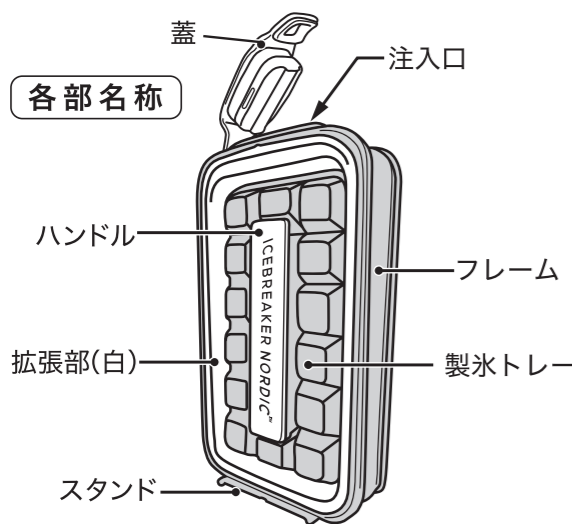
モデルNo. ICBP-WB-15

※お手元に商品が届きましたら、ご使用前に商品の状態を必ずご確認ください。※取扱説明書は大切に保管して下さい。

「ICEBREAKER アイスブレイカー」をお買い上げ賜り誠に有難うございます。ご使用開始前に、必ず説明書を良くお読み頂き、正しくご使用下さい。

特徴

- ◆蓋付だから冷凍庫へ入れる時に水がこぼれず、縦置き・横置き・重ね置きができます。
- ◆密閉容器だから、におい移りがなく清潔。使い切れなかった氷をそのまま保管可能。
- ◆ジュース等飲物を凍らせ、ドリンクボトルとしても活用できます。
- ◆保冷効果が長続きますからアウトドアでも活躍。蓋付なので、保冷剤や簡易氷枕としても使用可能。
- ◆人体や環境への有害性が指摘されているBPAとフタル酸エステルは含まれていませんので、安心してご使用頂けます。



■本体の洗浄

- ① 水を製氷する等、初めてご使用になる時は、蓋を開け、ハンドルを両手で持ち本体を上げた状態で、「水かぬるま湯(30℃以下)」を7割ほど入れたのち、蓋をしっかり閉めて、振り洗いして下さい。
- ② 水以外を凍らせた場合は、取り出した後にすぐに振り洗いをすればきれいに落とせます。付着したままにすると汚れや匂いが容器に残り、製氷した際に匂いが移る可能性があります。
- ③ 本体に傷がつく恐れがありますから、内部は柔らかい柄付ブラシ、外側は柔らかいスポンジをご使用ください。
- ④ 「水」もしくは「ぬるま湯(30℃程度)」を入れての振り洗いが最適です。洗浄剤をご使用になる場合は、食器用中性洗浄剤をご使用下さい。塩素系洗浄剤や濃度の高いアルカリ性洗浄剤は、本体を痛める恐れがあるため使用しないで下さい。

※フレームから本体(製氷トレー)を外し分解することは可能ですが、水漏れ防止の設計上、非常に硬く外しにくい為お勧めしません。
 ※製氷トレーとフレームの接合部分がきちんとはめ込まれているかフレームの周り全てを親指で押し込で確認して下さい(両面)。しっかりとはめ込まれていないと水漏れします。

⚠ 使用上の注意

- 油分を含む粘性のある液体は本体に入れないで下さい。
- 塩素系洗浄剤や漂白剤、クレンザー(磨き粉)のご使用はお止め下さい。
- 無理に引っ張ったり、たわしや目の粗いスポンジ、鋭利な刃物などの使用はお止め下さい。
- 電子レンジやオーブンでの使用は出来ません。
- 高温になる場所(ガスコンロ・IHヒーター・直射日光等)や熱くなる調理器具の近くに置かないで下さい。

仕様

●本体: 21×11.5×6(拡張時: 8) cm ●重量: 240g ●貯水量: 260ml(1つ 約2.5~3cmの氷が18個作れます。)
 / 拡張時: 1,150ml ●耐冷温度: -20℃ ●材質: ポリプロピレン、サーモプラスチックエラストマー

●デザイン: デンマーク ●原産国: 中国

※食器洗浄機使用可能 ※BPA・フタル酸エステルは含まれていません。

※本仕様は改善や改良のために予告なく変更されることがあります。 ※包装やカタログの色と実物の色とは、印刷の都合により異なることがあります。

デンマーク
アイスブレイカーノルディック社
日本総代理店・輸入総発売元

〒106-0044 東京都港区東麻布3-3-9
 アネックス麻布十番オフィス3階
 TEL03-3589-3300 www.metex.co.jp/



メテックス 検索

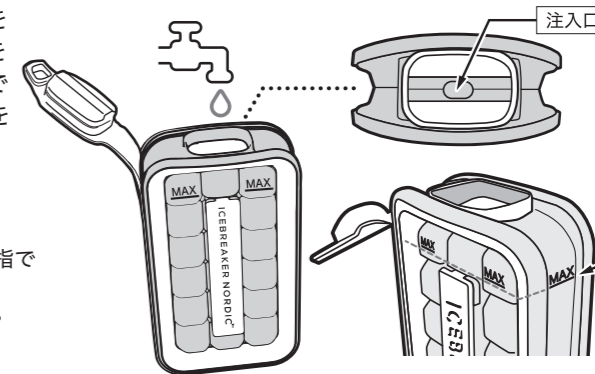


お客様相談室

TEL: 03-3589-4555
 (平日9:15~17:15)
 FAX: 03-3589-5500 (24時間受付)
 E-mail: metex-master@metex.co.jp

<ご使用方法> ③、④をよく読み、開いてから氷を出して下さい。

- ① 拡張していないフレームに製氷トレーをしっかりとはめこみ、蓋を開けて水を注入します。水は注入口いっぱいまで入れず、本体に記載の【MAX】の線を目安にして下さい。

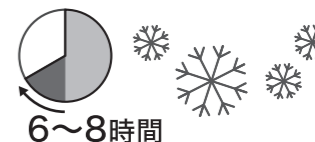


※製氷トレーとフレームの接合部分がきちんとはめ込まれているかフレームの周り全てを親指で押し込で確認して下さい(両面)。しっかりとはめ込まれていないと水漏れします。

Point!

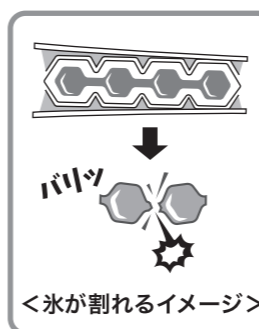
MAXの線を目安に水を入れて下さい。

- ② 蓋をしっかり閉めた後、冷凍庫へ入れ約6~8時間程度凍らせます。(縦でも横でも自由な置き方が出来ます。)

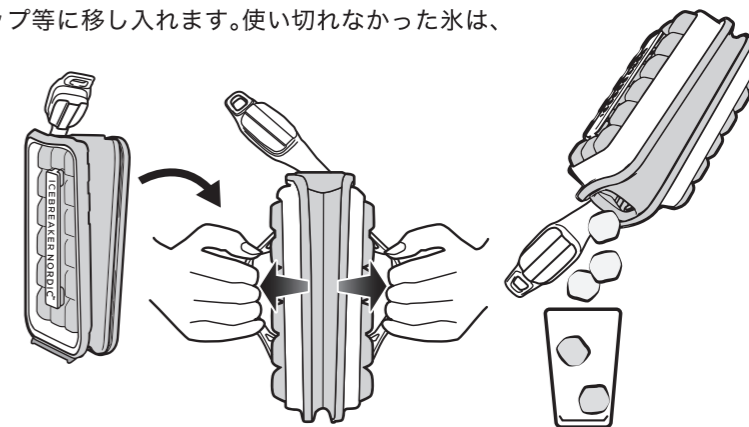


- ③ (氷が出来たら)先に蓋を開け、アイストレーをキッチンカウンターやテーブル等、平らな固い場所に置き、下の図のように本体の上から手の平を当て、左右の端から端まで数回垂直に体重をしっかりとかけて、中の氷を砕いて下さい。(ひっくり返して両面から数回押して下さい。)

しっかり体重をかける



- ④ 本体にある両方のハンドルを持ち、左右に広げると氷が本体(製氷トレー)内側から剥がれ落ちます。必要な量の氷をコップ等に移し入れます。使い切れなかった氷は、そのまま本体に保管可能です。



❗ 蓋を閉じていると、真空状態になっているため本体が開きません。

❗ 氷が本体(製氷トレー)から剥がれ落ちない場合は、広げたハンドルを元に戻し、再度③の動作を繰り返して行って下さい。また、必要に応じ表面に少し流水をかけて下さい。

応用編

◆拡張したまま凍らせた後、そのままクーラーボックス等に入れば、大型の保冷剤として使用できます。